

の費用が必要となることから、基金を造成する必要があり高速鉄道基金に積み立てられてきた「事業所税収」の二分の一を公共施設長寿命化推進基金に移し替えて本庁舎建替えの資金源として活用して行くことになりました。

仙台市防災・減災のまち推進条例を議員提案で可決・成立

東日本大震災から六年が経過するに当たり、市議会として防災及び減災の推進に關し必要な事項を定めるための条例制定に向けて議論してきました。その策定過程で残念ながら共産党仕儀段から賛同を得られなかったため、自民党、市民フォーラム、公明党、社民党市議団の四党派で条例の原案をまとめました。その概要は、自らの命は自らが守るという自助、近隣の住民や地域で互いに助け合う共助、そ

して市・県・国が行う公助の取り組みと、相互の連携が不可欠であること、震災から得た教訓や知見を風化させず、後世に継承するとともに広く発信し、世界の防災・減災に貢献することを謳っています。この内容を基に、市民説明会や市民意見を募り、今議会に上程し、最終日に可決・成立しました。

社民党仙台市議団は

代表質疑に辻議員

県費負担教職員の給与負担移行に伴う税財源問題をはじめ、市中心部の震災復刻メモリアル施設については、市民防災学習センターとしての機能を盛り込んだものにと質しています。また、社民党市議団として今日まで要望していた「公文書館」について、今般、仮称・歴史的公文書センター整備として、旧貝森小学校の校舎を活用する議案が上程され、保存資料の活用、市民への公開など、管理方法を

条例で定めるよう求めました。市は、平成三十二年年度の会館を目的に、設置根拠や施設のあり方、人員配置などについて他政令市の例を参考にしながら健闘して行くという回答を引き出しています。

小山議員は、一般質問で有害鳥獣による農作物被害の防護対策について、レーザーによる撃退やオオカミの糞エキスを活用した対策を求めると同時に、教職員の多忙化解消の取組み、仙台港の地域に建設中の火力発電所・仙台パワーステーションの大气汚染問題、更には、猟友会の高齢化対策について質してあります。

予算等審査特別委員会では、今年から国の補助事業として始まる「街区公園」の新たな活用について考え方を質し、地域の声や公園愛護協力会の意見なども尊重すると同時に、街区公園は集会所の隣になっ

ているものが多いと思うので、集会所は災害時に一時避難所になることを考え、公園内に下水管を引き、災害時のトイレとして使用できる工夫と炊き出し用に釜戸にできる椅子なども配備するよう検討するよう求めています。



いじめ問題については、太白区内の小学校であったいじめの実態、保護者の思いなどを具体的に示しながら、いじ

めの把握、すばやい対応、担任の先生が交代した時はいじめに遭っている児童の関係や内容などについて「引継ぎノート」等をつくり、次の担任に引き継ぐ事などを求めています。

その他に、石川議員は学校給食における食物アレルギー児童生徒への対応食提供を求めています。ひぐち議員は、保育士などの賃金改善の徹底、放課後児童クラブ職員への待遇改善などを求めました。また、総括質問では、市債について質し、教職員の給与に関して、毎年国の借金肩代わりとなる「臨時財政対策債」での対応は問題として取り上げ、市当局は国に対して申し入れる旨の回答を得ています。講師の給与法についても、市は現在日給・月給制になっているが県と同じ「月給制」に変えるよう求め「月給制に統一する」となりました。



平成二九年度の主要事業は次の内容です。(単位千円)

- 文化振興 四五八、二五七
- 八木山動物公園整備 一八六、三二五
- 確かな学力育成 九九二、九〇〇
- いじめ防止対策推進 二〇六、四九九
- 学校教育施設整備 四、七五八、〇四六
- 男女共同参画推進 六四四、〇九四
- 生活困窮者の自立支援 三七六、五三四
- 介護予防・日常生活支援 二、三五二、一七三
- 高齢者保健福祉推進 四、五八三、五七六
- 障がい者施設整備 一八二、七五七
- 障がい者保健福祉の推進 二二、八二八、三七三
- 障がい者差別解消 六、七八七

- すこやか子育てプラン推進 六一、二〇三、七〇八
- 子ども医療費助成 三、三九八、五九八
- 子どもの貧困対策 一〇〇、一五二
- 仙台版防災教育推進 五、八九〇
- 救急体制整備 三七一、四九二
- 地域安全対策 六七、四五二
- 低炭素都市作り推進 七〇四、〇三一
- ゴミ減量・リサイクル推進 三、八八八、〇九〇
- 生物多様性保全推進 三、六二七
- 定禅寺活性化推進 三〇、〇〇〇
- ストック活用型都市再生 一五、五四一
- 杜の都の自転車プラン 八六六、三二七
- 東西線沿線にぎわい・街づくり 六三四、九六七
- 中小企業経営基盤強化 六五六、一四三
- 起業支援 一〇二、六一九
- 中小企業人材確保・育成 六二、三四七
- 産学連携推進 四九、一六四
- IT産業国際連携推進 二五、一三〇
- 国際経済交流 二一、五七三
- 正宗公生誕四五〇年関連 六二、三九一
- 観光振興 九五八、六一七
- インバウンド推進 二一八、五七七
- コンベンション誘致 一二五、〇〇〇
- 東北連携推進 四四四、八四一
- 仙山連携推進 二二、七〇四
- 農食ビジネス推進 六八、〇七一
- 東部地域農業生産基盤整備 一七七、〇八七
- 国際姉妹都市との交流 三一、一四六
- スポーツ推進 九一三、九六二

復興街づくり

- 被災者生活再建支援 一〇五、〇一四
- 被災者の健康支援 二八、八八五
- 復興街づくりに向けた町内会支援 五、九六四
- 東部市街地排水施設整備 一、四四四、四四五
- 津波被災地域住宅再建支援 四四三、〇五〇
- 仙台港周辺地区復興支援 五七、四七〇
- 被災者の雇用促進 二五九、〇三四
- 農業生産基盤整備 三〇九、七〇五
- ふるさと杜再生プロジェクト 二二、四二四
- 海岸公園整備 二〇六、九六二
- 六郷東部地区現地再建 二六、五〇〇
- 東部地域移転跡地利活用 一五三、三三四
- 蒲生北部地区復興再整備 五、四一九、六八八
- 東部復興道路整備 一一、五九九、九六三
- 津波避難道路整備 一、三三九、一九七
- 避難所等防災体制の強化 一三七、三五〇
- 防災人づくり 四四、四五〇
- 防災環境都市づくり 六三、八四一
- 震災復興メモリアル事業 一三六、〇一六
- 市民共同推進 六九、三五〇
- 郊外住宅地・西部地区街づくりプロジェクト 五〇、九二四
- ふるさと底力向上プロジェクト 三五、三六六

公共施設等マネジメントの推進

一三、四〇七、八九六

市役所本庁舎建替調査 一七、四七四

人材育成機能・組織力の強化

三四、七一一

＊お知らせ＊

都市計画道路東中田線（日交タクシー前）については、これまでの計画として、平成二九年三月一杯で工事が終了し、信号の付け替えなどを行いながら本年四月一日からバイパスに結節する中で中田一丁目の堤防まで供用開始ができると発表しておりましたが、最後に買収した道路用地に下水管の埋設工事が遅れをきたしたために、供用開始が大幅に遅れ本年十月一日からとなります。当分、ご迷惑をおかけいたしますがご理解賜りますようお願い申し上げます。



今年度から順次実施される高齢者いじめの政策、「医療・介護」の負担増、年金のカット等、高齢者の暮らしが益々大変な生活を強いられる安倍政権の実態です。

通常国会は一月二十日に開催され、総額九七兆四五四七億円に及ぶ国家予算案について、論議が展開されておりますが、特徴的には国の借金が一千二五兆円にもなっているにもかかわらず、赤字国債及び建設国債として三四兆三六九八億円の国債発行を行い、防衛費を一、四パーセント増の五兆一、二五億円に増額しているのではありません。

この事は、平成二七年九月一九日の委員会において、自公が数を背景に強行採決で決めた「戦争法」に合わせた予算となつています。今後消費税が社会保障費に回されず、武器購入費に充当されていくことを心配するものであります。

「介護問題」

大企業社員らの保険料が増加、健康保険組合に入っている人なら現行、月五、二五円が本年八月から引き上げられ月額五八、二五円に。利用料の月額自己負担上限がアップされます。年金収入のみの単身で年三、八三万円未満の課税世帯など、現行三万七、二〇〇円が本年八月から四万四、四〇〇円に、現役並み所得の高齢者の自己負担割合を三割に、年金収入のみで年三、八三万円以上の単身者らは二割から三割に引き上げられる。これらは一部であります。

年金も昨年の臨時国会で強行採決により国民年金で年約四万円削減、厚生年金で年一、四万円の削減法が自公政権で採択されています。自公政権の暴走を止めなければ安心して暮らせなくなります。皆で政治の流れを変え

「医療問題」

ましよう。

七十歳以上の月額自己負担上限引き上げ。年収三七〇万円未満の住民税課税世帯なら、入院プラス外来の世帯合算、現在四万四、四〇〇円が、本年八月から五万七、六〇〇円に、個人の外来では、現在一万二、〇〇〇円が、本年八月から一万四、〇〇〇円に、翌年の二〇一八年八月からは一万八、〇〇〇円に決定。また、七五歳以上の保険料軽減についても縮小され、年金収入のみで年二百一十万円の場合、現在四〇九、〇〇円が本年度五四〇〇円に、翌年度は六二九、〇〇円に縮小されます。入院時の光熱水費の自己負担アップは、軽度者一日三、二〇円が本年十月から三七〇円に、中度者はこれまで〇円だったものが、本年十月から二〇〇円に、翌年度の四月から三七〇円にされます。